



2025年6月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社スカラ
コード番号 4845 URL <https://scalagr.jp/>
代表者 (役職名) 取締役 代表執行役社長 (氏名) 新田 英明
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上代 大輔
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6418-3960

(百万円未満切捨て)

1. IFRS 及び Non-GAAP 指標に基づく経営指標等

連結経営成績(累計) (2024年7月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(IFRS)										
2025年6月期第1四半期	2,226	△4.3	△35	—	△46	—	△48	—	△43	—
2024年6月期第1四半期	2,326	—	△62	—	△74	—	△114	—	△104	—
(Non-GAAP)										
2025年6月期第1四半期	2,226	△4.3	△14	—	△25	—	△33	—	△32	—
2024年6月期第1四半期	2,326	—	△57	—	△69	—	△69	—	△55	—

	IFRS		Non-GAAP	
	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△2.48	△2.48	△1.86	△1.86
2024年6月期第1四半期	△6.04	△6.04	△3.18	△3.18

(注) 1. 2024年6月期第1四半期の売上収益、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えて表示しているため、これらの対前年同四半期増減率は記載しておりません。

非継続事業の詳細は、添付資料P.17「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(非継続事業)」をご参照ください。

2. Non-GAAP指標では、営業利益以下の各項目において投資事業有価証券に係る損益を控除し、四半期利益以下の各項目において非継続事業からの四半期利益を控除調整しております。

3. Non-GAAP指標の詳細につきましては、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(1)当四半期の経営成績の概況」をご参照ください。

2. IFRSに基づく連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期第1四半期	11,821	4,139	3,957	33.5	227.98
2024年6月期	12,699	4,569	4,338	34.2	250.01

3. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	18.75	—	18.75	37.50
2025年6月期	—				
2025年6月期(予想)		8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

4. IFRSに基づく2025年6月期の連結業績予想

2025年6月期の連結業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株 当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△5.7	550	—	540	—	380	—	340	—	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年6月期1Q	17,759,159株	2024年6月期	17,753,459株
2025年6月期1Q	400,008株	2024年6月期	400,008株
2025年6月期1Q	17,353,822株	2024年6月期1Q	17,334,847株

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、同日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 8
要約四半期連結損益計算書	
要約四半期連結包括利益計算書	
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14
(要約四半期連結財務諸表注記)	P. 14
(セグメント情報)	P. 15
(非継続事業)	P. 17
(重要な後発事象)	P. 17

1. 経営成績等の概況

当社グループは、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

また、国際会計基準（IFRS）に加えて、より実態を把握することができる指標（以下、Non-GAAP指標）を採用し、双方で連結経営成績を開示いたします。

2023年6月期に連結子会社であるジェイ・フェニックス・リサーチ(株)、2024年6月期第3四半期に(株)フォーハンズ、同第4四半期に(株)readytowork、(株)スポーツストーリーズ及び(株)ブロンコス20を非継続事業に分類しておりますが、前連結会計年度に全株式の譲渡が完了しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である(株)レオコネクトを解散及び清算する決議を行い、同社を非継続事業に分類しております。

これにより、2024年6月期第1四半期連結累計期間の売上収益、営業利益及び税引前四半期利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えて記載しております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化や雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復傾向が続いております。しかしながら、地政学リスクによる資源価格の高騰や円安による物価上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この状況下において、コスト削減や新たな働き方を創造するオペレーション効率化のためのデジタルトランスフォーメーション(DX)の最先端技術を活用し、自社だけでなく共創パートナー企業や地域社会、国の成長を重要視するとともに、社会課題解決に関わる人々の自己成長に向けた取り組みが注目されております。

このような事業環境のもと、当社グループは、重要基盤であるDX事業を中心としたグループ収益力を大幅に改善するために、2024年6月期より、事業の選択と集中及びコスト削減による事業構造改革を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,226百万円（前年同期比4.3%減）となりました。インキュベーション事業が好調に推移したものの、主に人材事業において新卒採用支援の売上収益減少による影響等が生じたことによるものです。

利益につきましては、営業損失は35百万円（前年同四半期は62百万円の営業損失）となりました。これは主に、金融事業で広告費用等の先行投資が続いていることや、インキュベーション事業の成長に向けた開発や人件費等の先行費用の増加及び投資事業有価証券評価損の計上によるものです。

税引前四半期損失につきましては、46百万円（前年同四半期は74百万円の税引前四半期損失）となり、法人所得税費用等1百万円を計上した結果、四半期損失は48百万円（前年同四半期は114百万円の四半期損失）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は43百万円（前年同四半期は104百万円の親会社の所有者に帰属する四半期損失）となりました。

(Non-GAAPベース)

Non-GAAP指標は、国際会計基準(IFRS)から当社グループが定める非経常的な項目やその他の調整項目を控除したものです。

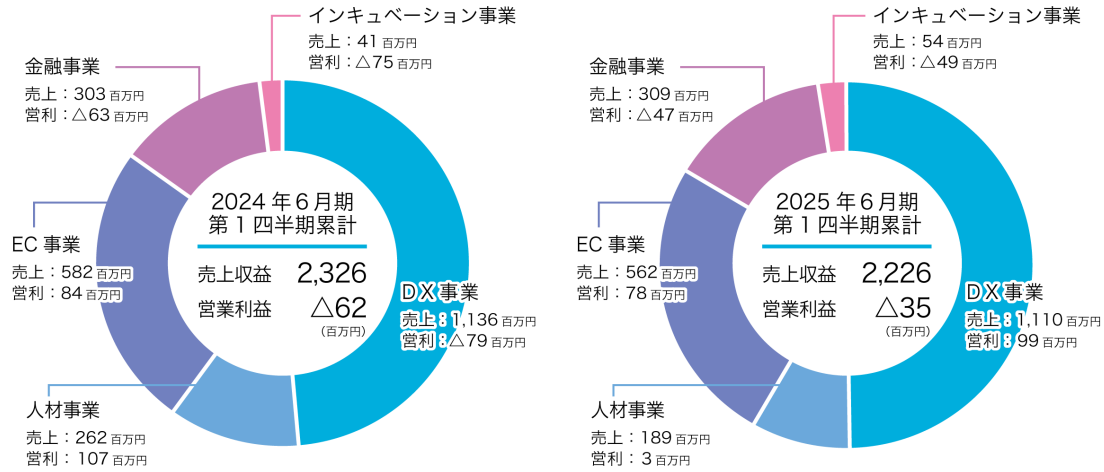
Non-GAAP指標を開示することで、ステークホルダーにとって同業他社比較や過年度比較が容易になり、当社グループの恒常的な経営成績や将来見通しを理解する上で、有益な情報を提供できると判断しております。

なお、非経常的な項目とは、一定のルールに基づき将来見通し作成の観点から除外すべきと当社グループが判断する一過性の利益や損失のことです。

Non-GAAP指標の開示に際しては、米国証券取引委員会(U.S. Securities and Exchange Commission)が定める基準を参照しておりますが、同基準に完全に準拠しているものではありません。

営業利益以下の各項目において投資事業有価証券に係る損益を控除し、四半期利益以下の各項目において非継続事業からの四半期利益を控除調整しております。

各セグメントの業績については以下の通りです。
 なお、売上収益及びセグメント利益は国際会計基準（IFRS）に基づいて記載しております。



① DX事業

DX事業におきまして、㈱スカラコミュニケーションズでは、SaaS/ASPの「i-ask」、「i-search」等の既存サービスが堅調に推移しているとともに、人材派遣事業や新サービスである給付金システムの新規案件獲得、WEBサービスの大型案件の構築が順調に推移しました。

㈱エッグでは、デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けたフレイル予防アプリに新たな機能を追加し、リリースしました。引き続き、自治体公式LINEを活用したフレイル予防のオンラインサービス等、フレイル予防事業案件の獲得と他自治体への横展開に注力し、全国的なフレイル対策の普及に向けた推進を図ってまいります。

DX事業全体では、売上収益は前年同期に対して若干減少しましたが、既存サービス及び新規サービスの導入において概ね予想通り進捗しております。一方で、㈱スカラコミュニケーションズと㈱スカラパートナーズの合併等の事業構造改革でリソースの有効活用、生産性向上、コスト削減を図った結果、利益は前年同期に対して増加しました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額 (率)
売上収益	1,136	1,110	△25 (△2.3%)
セグメント利益 (IFRS、Non-GAAP)	本社費配賦前	147	66 (82.6%)
	本社費配賦後	99	179 (-)

② 人材事業

人材事業におきまして、採用支援サービス事業では、継続的に企業の採用意欲が高い状況であり、体育会学生や女子学生に特化した先行優位性による採用支援サービスのニーズは引き続き高いレベルを維持しておりますが、就職活動の早期化への対応や一時的なキャリアアドバイザーのリソース不足により、今期における人材紹介の成約率が減少しました。また、新規事業の中途採用支援事業及び学生向けキャリア教育事業の収益化には未だ至っていないため、新規事業の早期収益化を目指します。

以上の結果、売上収益・利益は前年同期に対して減少しました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額 (率)
売上収益	262	189	△72 (△27.8%)
セグメント利益 (IFRS、Non-GAAP)	本社費配賦前	23	△93 (△80.2%)
	本社費配賦後	3	△104 (△97.1%)

③ EC事業

EC事業におきまして、トレーディングカードゲーム（TCG）の買取・販売・攻略情報サイトの機能を備えたUI/UXの高いサイトの運営により、高い集客力を維持し、順調に会員数・買取及び販売数が伸びております。また、長年研究開発を続けてきたAI画像認識ソリューションでは、物流拠点における発送業務の一部に導入し、配送作業効率化とコスト削減に向けて運用を開始しております。

好調な外部環境から前期活況を呈した一部タイトルの一時的ブームが落ち着いた影響と、継続してシステムの改修・改善や最新のテクノロジーの導入を積極的に推進した結果、売上収益・利益は前年同期に対して減少しました。

（単位：百万円）

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額（率）
売上収益		582	562	△20（△3.5%）
セグメント利益 （IFRS、Non-GAAP）	本社費配賦前	100	91	△8（△8.7%）
	本社費配賦後	84	78	△6（△7.1%）

④ 金融事業

金融事業におきまして、2月から販売を開始した新商品「いぬとねこの保険 ネクスト/ライト/ミニ」の販促活動の強化、ウェブサイト・ランディングページの改修等のマーケティング施策が功を奏して保有契約件数が順調に推移し、また新商品の契約比率が増加した結果、売上収益・利益は前年同期に対して増加しました。

（単位：百万円）

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額（率）
売上収益		303	309	6（2.3%）
セグメント利益 （IFRS、Non-GAAP）	本社費配賦前	△54	△38	16（-）
	本社費配賦後	△63	△47	16（-）

⑤ インキュベーション事業

インキュベーション事業におきまして、㈱ソーシャル・エックスでは「逆プロポ」各種サービスを通じて、官民共創による社会課題解決型の新規事業創出を支援しております。東京都の「多様な主体によるスタートアップ支援展開事業（TOKYO SUTEAM）」の協定事業者として実施している、財務リターンと社会的インパクトを両立する社会課題解決型スタートアップの創出・支援をめざす「官民共創型アクセラレーションプログラム（ソーシャルXアクセラレーション）」では、2期目の入賞企業が「逆プロポ」を実施しております。また、内閣府沖縄総合事務局事業にて実施した同プログラムでは、ファイナリストへの伴走支援が決まり、群馬県庁事業にて実施した脱炭素をテーマとした同プログラムでは、森ビル株式会社の協力のもと、虎ノ門ヒルズ駅前広場アトリウムを貸し切って実施した自治体による課題発信ピッチが注目を集め、各メディアにて記事化されました。現在はエントリー企業の審査を実施しております。

逆プロポ・コンシェルジュでは、新たに品川区との取組が始まり、「しながわSDGs共創推進プラットフォーム運営等支援業務」を受託、しながわシティラボの運営をスタートしました。東京都によるTOKYO Co-cial IMPACTでは、起業家を支援するメンターとして、ディレクター等を派遣し、また、昨年8月に開発した官民共創人材育成プログラムは、これまでに55社109自治体3省庁に向けて実施、今後も各方面への展開が決まっております。コンシェルジュ事業の一環として実施している豊田市からの一年間の出向職員についても、メディアに取り上げられる等注目を集め、東京都港区には、企業連携推進アドバイザーとしてディレクターを派遣する等、政府はじめ各所からの注目が集まる中、共創エコノミーの構築に向け、新たな挑戦を続けております。

㈱スカラでは、これまで培ってきた事業開発やM&Aの経験とグループにおけるDXのノウハウを掛け合わせて情報通信業等の上場企業に対し、共創型M&Aサービスを実施しております。クライアントのM&A後のDXを重要視したサービスのグロースに注力しておりますが、人件費等の投資先行フェーズであり、収益化を目指します。

インキュベーション事業全体では、当事業の成長に向けた開発や人件費等の先行費用の増加及び投資事業有価証券評価損の計上がありましたが、新規事業の積極的な取り組みにより収益規模が徐々に拡大した結果、売上収益・利益は前年同期に対して増加しました。

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額 (率)
売上収益		41	54	12 (30.9%)
セグメント利益 (IFRS)	本社費配賦前	△73	△49	23 (-)
	本社費配賦後	△75	△49	25 (-)
セグメント利益 (Non-GAAP)	本社費配賦前	△68	△28	39 (-)
	本社費配賦後	△69	△28	40 (-)

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ878百万円減少し、11,821百万円となりました。その主な要因は、定期預金の増加643百万円があったものの、現金及び現金同等物の減少1,257百万円、営業債権及びその他の債権の減少214百万円及び投資事業有価証券の減少116百万円等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ447百万円減少し、7,682百万円となりました。その主な要因は、社債及び借入金の減少394百万円及び未払法人所得税等の減少86百万円等によるものであります。

(資本)

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ430百万円減少し、4,139百万円となりました。その主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期損失43百万円の計上及び配当による資本剰余金の減少325百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年8月14日の「2024年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,817,385	5,560,262
定期預金	-	643,000
営業債権及びその他の債権	1,323,993	1,109,759
棚卸資産	366,600	401,382
再保険資産	521,946	564,204
未収法人所得税	6,699	6,699
その他の流動資産	69,477	82,436
流動資産合計	9,106,102	8,367,744
非流動資産		
有形固定資産	301,522	287,070
使用権資産	387,914	378,998
のれん	978,216	978,216
無形資産	115,050	114,113
その他の長期金融資産	1,171,979	1,159,174
投資事業有価証券	269,291	153,216
繰延税金資産	365,458	377,431
その他の非流動資産	4,429	5,855
非流動資産合計	3,593,863	3,454,078
資産合計	12,699,966	11,821,822

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	784,511	729,333
社債及び借入金	3,344,922	3,281,850
リース負債	292,242	267,377
未払法人所得税等	98,173	11,976
保険契約負債	628,803	650,253
その他の流動負債	363,788	438,281
流動負債合計	5,512,441	5,379,072
非流動負債		
社債及び借入金	2,445,350	2,113,900
リース負債	103,601	119,432
その他の非流動負債	69,068	70,204
非流動負債合計	2,618,021	2,303,537
負債合計	8,130,462	7,682,610
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	1,792,766	1,794,217
資本剰余金	991,270	669,873
利益剰余金	1,628,971	1,585,873
自己株式	△299,966	△299,966
その他の資本の構成要素	225,454	207,626
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,338,496	3,957,623
非支配持分	231,007	181,588
資本合計	4,569,504	4,139,211
負債及び資本合計	12,699,966	11,821,822

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
継続事業		
売上収益	2,326,502	2,226,572
売上原価	△1,228,462	△1,223,693
売上総利益	1,098,040	1,002,879
販売費及び一般管理費	△1,156,720	△1,023,207
その他の収益	1,603	8,114
その他の費用	△151	△2,392
投資事業有価証券に係る損益考慮前 営業利益 (△損失)	△57,227	△14,606
投資事業有価証券に係る損益 (△損失)	△5,309	△20,733
営業利益 (△損失)	△62,537	△35,339
金融収益	49	770
金融費用	△11,847	△11,920
税引前四半期利益 (△損失)	△74,335	△46,489
法人所得税費用	971	△1,032
継続事業からの四半期利益 (△損失)	△73,363	△47,522
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△41,352	△536
四半期利益 (△損失)	△114,716	△48,058
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△104,782	△43,098
非支配持分	△9,933	△4,959
四半期利益 (△損失)	△114,716	△48,058
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	△3.99	△2.45
非継続事業	△2.06	△0.03
合計	△6.04	△2.48
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	△3.99	△2.45
非継続事業	△2.06	△0.03
合計	△6.04	△2.48

(要約四半期連結包括利益計算書)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期利益 (△損失)	△114,716	△48,058
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△61,511	△12,575
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	1,803	△5,187
税引後その他の包括利益合計	△59,707	△17,763
四半期包括利益	△174,423	△65,821
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△164,490	△60,861
非支配持分	△9,933	△4,959
四半期包括利益	△174,423	△65,821

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	
2023年7月1日残高	1,787,880	986,384	5,162,735	△299,966	195,234	7,832,267
四半期利益 (△損失)	-	-	△104,782	-	-	△104,782
その他の包括利益合計	-	-	-	-	△59,707	△59,707
四半期包括利益	-	-	△104,782	-	△59,707	△164,490
配当金	-	-	△320,683	-	-	△320,683
新株予約権の行使	1,552	1,552	-	-	△42	3,062
所有者との取引額合計	1,552	1,552	△320,683	-	△42	△317,621
2023年9月30日残高	1,789,432	987,936	4,737,269	△299,966	135,484	7,350,155

	非支配持分	資本合計
2023年7月1日残高	257,191	8,089,459
四半期利益 (△損失)	△9,933	△114,716
その他の包括利益合計	-	△59,707
四半期包括利益	△9,933	△174,423
配当金	-	△320,683
新株予約権の行使	-	3,062
所有者との取引額合計	-	△317,621
2023年9月30日残高	247,258	7,597,413

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計
2024年7月1日残高	1,792,766	991,270	1,628,971	△299,966	225,454	4,338,496
四半期利益(△損失)	-	-	△43,098	-	-	△43,098
その他の包括利益合計	-	-	-	-	△17,763	△17,763
四半期包括利益	-	-	△43,098	-	△17,763	△60,861
配当金	-	△325,377	-	-	-	△325,377
新株予約権の行使	1,450	1,450	-	-	△39	2,861
新株予約権の失効	-	24	-	-	△24	-
支配継続子会社に対する 持分変動等	-	2,504	-	-	-	2,504
所有者との取引額合計	1,450	△321,397	-	-	△64	△320,011
2024年9月30日残高	1,794,217	669,873	1,585,873	△299,966	207,626	3,957,623

	非支配持分	資本合計
2024年7月1日残高	231,007	4,569,504
四半期利益(△損失)	△4,959	△48,058
その他の包括利益合計	-	△17,763
四半期包括利益	△4,959	△65,821
配当金	-	△325,377
新株予約権の行使	-	2,861
新株予約権の失効	-	-
支配継続子会社に対する 持分変動等	△44,458	△41,954
所有者との取引額合計	△44,458	△364,470
2024年9月30日残高	181,588	4,139,211

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△74,335	△46,489
非継続事業からの税引前四半期利益 (△損失)	△41,153	△479
減価償却費及び償却費	200,477	76,386
固定資産除売却損益 (△は益)	-	△5,000
投資事業有価証券に係る損益 (△は益)	5,309	20,733
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,531	-
金融収益	△106	△770
金融費用	11,064	11,599
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	196,022	△12,215
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	25,494	△52,409
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△96,399	△41,765
再保険資産の増減額 (△は増加)	28,408	△42,258
保険契約負債の増減額 (△は減少)	15,447	21,450
その他	19,822	78,469
小計	286,520	7,250
利息及び配当金の受取額	1,166	1,671
利息の支払額	△8,825	△11,449
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△80,080	△93,951
営業活動によるキャッシュ・フロー	198,780	△96,478
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△643,000
有形固定資産の取得による支出	△19,756	△3,442
無形資産の取得による支出	△27,710	△6,193
無形資産の売却による収入	-	5,000
投資有価証券の売却による収入	9,414	98,424
貸付金の回収による収入	24,925	900
敷金及び保証金の差入による支出	△7,358	△15,120
敷金及び保証金の回収による収入	-	186,964
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△1,724	-
その他	△690	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,900	△376,465

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	233,332	-
長期借入れによる収入	1,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△405,035	△375,236
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース負債の返済による支出	△142,442	△46,115
新株予約権の行使による株式発行収入	3,062	2,861
子会社の自己株式の取得による支出	-	△40,536
配当金の支払額	△295,018	△292,370
非支配持分への配当金の支払額	-	△12,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	373,898	△783,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,455	△221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548,323	△1,257,123
現金及び現金同等物の期首残高	7,740,400	6,817,385
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,352	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,304,077	5,560,262

(注) 継続事業からのキャッシュ・フロー及び非継続事業からのキャッシュ・フローが含まれております。非継続事業からのキャッシュ・フローについては、注記(非継続事業)に記載しております。

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結財務諸表注記)

1. 重要性がある会計方針

当社グループは要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した重要な会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率をもとに算定しております。

2. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されております。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されております。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、サービス特性の類似性ごとに分離された財務情報が入手可能なものであり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

非継続事業に分類した、㈱readytowork及び㈱レオコネクト（DX事業）、ジェイ・フェニックス・リサーチ㈱（インキュベーション事業）、㈱フォーハズ、㈱スポーツストーリーズ及び㈱ブロンコス20（人材事業）は、それぞれ前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報から控除しております。

- ・「DX事業」は、IT/AI/IoTを用いたDXを推進し、新規事業、新規サービスの創出や、既存事業を再定義し、再成長を加速するというテーマの中で、国内外のDXを推進するために各業界、関連技術に精通したパートナーとの協業を積極的に進めております。また、顧客ニーズに柔軟かつスピーディーに対応し、IT（Web、電話、FAX、SMS関連技術）/AI/IoT技術を活用したSaaS/ASPサービスを提供しております。
- ・「人材事業」は、体育会系人材を中心とした新卒・中途採用支援を行っております。
- ・「EC事業」は、対戦型ゲームのトレーディングカードゲーム（TCG）の買取と販売及び攻略サイトの機能を備えたリユースECサイト「遊々亭」を運営しております。
- ・「金融事業」は、ケガ・病気で動物病院にて通院・入院・手術等の診療を受けた場合に、かかった医療費を限度額や一定割合の範囲内で補償するペット保険「いぬとねこの保険」の運営をしております。
- ・「インキュベーション事業」は、M&Aや他企業とのアライアンスの他、全国自治体と連携した民間企業と新規事業開発、事業投資や組合等を通じての投資、及び当該投資に関連するバリューアップ及びエンゲージメントを行っております。

（2）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

前第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	要約四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	DX事業	人材事業	EC事業	金融事業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	1,136,529	262,189	582,687	303,051	41,417	2,325,875	627	2,326,502
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,292	-	-	-	11,090	12,383	△12,383	-
計	1,137,822	262,189	582,687	303,051	52,507	2,338,258	△11,756	2,326,502
セグメント利益又は損失	△79,734	107,360	84,849	△63,985	△75,016	△26,527	△36,010	△62,537
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	49
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	△11,847
税引前四半期利益 (△損失)	-	-	-	-	-	-	-	△74,335

- (注) 1. セグメント利益の調整額△36,010千円には、セグメント間内部取引消去及び各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 全社費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントへ配賦しております。
4. 事業セグメント間の振替価格は、第三者との取引に準じた独立当事者間取引条件に基づいて行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	要約四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	DX事業	人材事業	EC事業	金融事業	インキュ ベーション 事業	合計		
売上収益 外部顧客への売上収益	1,110,696	189,342	562,335	309,974	54,224	2,226,572	-	2,226,572
セグメント 間の内部売 上収益又は 振替高	13,121	-	-	-	-	13,121	△13,121	-
計	1,123,818	189,342	562,335	309,974	54,224	2,239,694	△13,121	2,226,572
セグメント 利益又は損失	99,640	3,155	78,834	△47,955	△49,712	83,962	△119,302	△35,339
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	770
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	△11,920
税引前四半期 利益 (△損失)	-	-	-	-	-	-	-	△46,489

- (注) 1. セグメント利益の調整額△119,302千円には、セグメント間内部取引消去及び各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 全社費用については、合理的な基準に基づき各報告セグメントへ配賦しております。
4. 事業セグメント間の振替価格は、第三者との取引に準じた独立当事者間取引条件に基づいて行っております。

(非継続事業)

当社は、2023年6月期に連結子会社であるジェイ・フェニックス・リサーチ(株)、2024年6月期第3四半期に(株)フォーハンズ、同第4四半期に(株)readytowork、(株)スポーツストーリーズ及び(株)ブロンコス20を非継続事業に分類しておりましたが、前連結会計年度に全株式の譲渡が完了しております。

また、当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である(株)レオコネクトを解散及び清算する決議を行い、同社を非継続事業に分類し、区分して表示しております。

(1) 非継続事業の業績

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
非継続事業の損益		
収益	475,065	214,855
費用	△516,219	△215,334
非継続事業からの税引前四半期利益 (△損失)	△41,153	△479
法人所得税費用	△199	△56
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△41,352	△536

(2) 非継続事業からのキャッシュ・フロー

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
非継続事業からのキャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,459	17,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,193	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,929	△40,536
合計	△22,195	△22,654

(重要な後発事象)

該当事項はありません。